

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 名古屋市立工業高等学校
(※正式名称を記載)

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒454 - 0851
愛知県名古屋市中川区北江町三丁目13番地

E-mail kogyo-th@nagoya-c.ed.jp

Website <http://www.kogyo-th.nagoya-c.ed.jp>

幼児児童生徒数 男子 656 名 女子 55 名 合計 711 名
幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は「ものづくり」を通しての人材育成と地域貢献をテーマにしています。全国でも数少ない工業高校のユネスコスクールです。

本校の特色ある取り組みは、①地域社会に開放した学校祭による製作物の展示、②社会福祉協議会での車椅子のメンテナンス、③環境技術科による幼稚園出前授業、④飛行機プロジェクト、⑤教科横断的な学習 です。

① 地域社会に開放した学校祭による製作物の展示

本年度のテーマは「『匠が魅せる市工祭』に決まり、専門技術を生かした工業高校らしい製作展示中心の学校祭になりました。近隣招待地域を昨年度よりも広げて、地域住民、保護者、卒業生、友人など 1840 名の来場がありました。生徒は「子供が安全に楽しめる」発表を意識し、発表当日も安全に配慮しながら運営することができました。学校祭の準備期間は、主体的で協働的、深い学びの機会になりました。

② 社会福祉協議会での車椅子メンテナンス

延べ33名の機械研究部の生徒が参加して名古屋市中川区の社会福祉協議会の車椅子の点検を行いました。

- 1学期：7/25 14名参加（3年6名 2年5名 1年3名）
- 2学期：12/21 12名参加（3年5名 2年4名 1年3名）
- 3学期：3月中旬 7名参加（2年4名 1年3名）参加予定

③ 環境技術科による近隣保育園での出前授業

延べ30名の生徒が参加して保育園でリサイクルの体験学習を指導しました。

- 中川区 かなで保育園 7/21 紙梳き 8/25 キャンドル作り
- 南区 芝保育園 7/28 紙梳き 12/8 キャンドル作り
- 中川区 中島保育園 10/27 キャンドル作り 1/26 紙梳き

④ 飛行機プロジェクト

2017年1月に本校の飛行機同好会が製作した有人動力式飛行機は国土交通省の許可を得て試験飛行に成功しました。制作期間は7年にも及びました。6月に名古屋市科学館に機体を展示する機会をいただきました。それに合わせて6つの専門学科の特色を生かしたものづくり体験のイベント「名市エパーク」を開催しました。現在、機体はあいち航空ミュージアムに1年限定で展示されており、ミュージアムで開発経過報告会を行いました。

⑤ 教科横断的な学習

ESDを教科横断的な学習のテーマと定めて2年目になります。今年度は、防災・環境・人権を本校の重要課題と決めて年間指導計画の中で単元との関わりを検討しました。「課題研究」の認知症サポーター講座や「時事問題研究」の制服リユースプロジェクト、「ライフデザイン」の途上国の生活を知る体験学習等、社会福祉協議会やJICA中部などの協力を得て新しい授業実践に取り組みました。



① 学校祭のテーマを掲げた入場門



② 福祉協議会での車椅子の点検



④ 名古屋市科学館での飛行機の展示



⑤ 「課題研究」での認知症サポーター養成講座

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

知っておきたい放射線のこと (高校生のための放射線副読本) ダムマニア 愛知県高等学校工業教育研究会化学部会平成29年度酸性雨調査結果 Emergency Situation 本校英語科作成のハンドブック 第3種電気主任技術者試験の問題 電力技術の教科書、 みんなの防災ハンドブック、JICA 原子力コンセンサス (電気事業連合会)、浜岡原発安全性のさらなる追求、 グリーンパワーブック、原動機 (実教出版)、クリーンエネルギー自動車の ご案内 (次世代自動車振興センター)、日本の地震活動&世界の震源分布

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校は学校教育目標を「独創進取の精神をもって人生を積極的に切り開き、平和で民主的な持続可能社会の担い手となり、社会を生き抜く未来への飛躍を実現する人材を育てるとともに、家庭や地域社会との結びつきを深め、開かれた学校にする。」としている。

平成 28 年度より ESD を教科横断的な学習のテーマとしており、本年度は「防災・環境・人権」を重点課題として、各科目の「年間指導計画」の中で ESD をどのように単元学習と結びつけるか検討した。

特別活動の年間指導計画では、学校行事や課外活動でもものづくりや防災での地域連携が位置付けされている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

継続した活動ができるようユネスコスクール事務局校内委員会を設けている。ユネスコスクールを対象とした研修会、助成、発表の案内を一覧表にして全職員に周知している。「名古屋市 ESD フレンドシップ事業」の助成を学校祭に補助している。

機械研究部の中川区福祉協議会の車椅子点検のような定期的、継続的な連携があることで、防災講座や認知症サポーター講座など専門科の授業でも連携ができています。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評議委員会で教育活動を総合的に評価している。年度末に教員対象に ESD に関する実践のアンケートを集約しており、他学科の取り組みをお互いに参考にしている。学校祭は外来者から直接評価をいただけるので、ものづくりの意識向上に結びついている。幼稚園出前授業や車椅子点検も連携先から好評価をいただいている。本年度は愛知県ユネスコスクール交流会で活動を報告し、参加者の感想や講評をから工業高校の特徴を生かしたものづくりでの ESD を進めていくという方向性を再確認できた。連携の範囲を地域からさらに広げていくことが今後の課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校のホームページに「ユネスコスクール・教科横断的な学習」のコーナーをつくり、ユネスコスクールの活動報告を掲載している。特色ある教育活動を紹介した冊子「なごやの学校」に、ESD の取り組みを寄稿している。愛知県ユネスコスクール交流会で活動報告を行った。また、ESD コンソーシアムあいち主催のユネスコスクール活動成果発表会での発表を行ったところ、招待されていたパラグアイの学校から生徒の交換プログラムの打診をいただいた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

幼稚園への出前授業、中川区福祉協議会の車椅子点検、認知症サポーター講座で連携した。ESD コンソーシアムあいちには校内研修会の講師を依頼し、研究会での発表の折にはご助言いただいている。地元子ども会のイベントにもものづくりで協力したり、職能開発財団のあいち技能プラザにも毎年出展している。今年度は名古屋市科学館での名市エパークやあいち航空ミュージアムでのイベントにも協力している。インターンシップでは100社以上の地元企業の協力がある。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

愛知県ユネスコスクール交流会や愛知県ユネスコスクール ESD 活動成果発表会で活動報告を行うとともに、他の発表校の指導者と情報交換を行った。また、ESD 推進の手引きを活用した研修会や ESD コンソーシアム愛知交流会に参加し、参加校や参加者と交流した。発表を聞いたパラグアイの学校の先生から交流の打診があったので今後検討していく。

- ⑧ ユネスコス쿨の活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本年度の学校祭のテーマは生徒の発案による「匠が魅せる市工祭」に決まった。工業高校の特性を生かした発表となった。学校祭の準備期間は技術のみならず、見せ方、接客、安全面を含め、課題解決、協働学習、深い学びの機会となった。教科横断的な学習において情報モラルや技術者倫理など工業の専門科目で「人権」を取り上げているのは特筆すべき点だといえる。工業高校のこれからを考える上で SDGs の実現に貢献する人材育成という意識が教員に芽生えている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

①地域社会に開放した学校祭による製作物の展示、②社会福祉協議会にて車椅子のメンテナンス、③環境技術科による幼稚園出前授業、④飛行機プロジェクト、⑤教科横断的な学習を本年度に引き続き行う。

平成 30 年度の教科横断的な学習のテーマを年度当初に設定し、教科間連携を進めていく。愛知県ユネスコス쿨交流会で本校の ESD を発信するとともにユネスコス쿨どうしの連携について模索していく。ユネスコス쿨アシストプロジェクトの助成を受けゴミ処理に関わる環境問題の学習を深める。